



平成27年度施政方針（抜粋）



南九州市長
霜出 勘平

I 安心・安全な食の提供と 未来を支える 農業のまちづくり

南の食料供給基地として、良好な農地の形成や農業用施設の整備、更新に努め、農業生産力の強化を図ります。また、安心・安全な農産物の生産体制づくりや販売促進キャンペーンなどによる農産物のPR活動を展開し、消費者に信頼される産地づくりに努めます。

茶業については、最終段階となっている「知覧茶」への銘柄統一に向けた条件整備や第三者認証の取得支援、海外輸出やお茶健康増進実証事業に基づく需要拡大など、新たな販売戦略に取り組みます。



畜産業については、環太平洋経済連携協定(TPP)などにより海外農畜産物との競争激化が懸念される中、国が実施する事業へ積極的に参加し、低コスト化や経営安定対策を推進するとともに、6次産業化サポート事業の実施により新商品開発と付加価値の向上に努めます。

II 活力ある人と物が動く 新たな産業づくり

商工業については、購買力の地元定着や利便性の向上を促進し、川辺仏壇産業については、後継者育成や販路拡大など、引き続き支援します。

企業誘致については、新たな誘致や既存立地企業の規模拡大への支援を行い、産業の振興と雇用拡大に努めます。

観光振興については、訪日外国人が増加の傾向にあり、誘客活動を推進します。また、グリーンツーリズムや地域のイベントなどを通して、都市と農村の交流を図ります。

III 人と物の交流を 促進する 社会基盤づくり

市道は、市民の日常生活に最も身近な生活基盤であり、計画的に整備や補修を行い、地域住民との協働により維持管理を行います。

南薩縦貫道の知覧道路および霜出道路は、知覧北インター付近の金山水車跡の発見により一部区間の完成が1年程度遅れる見込みとなりました。

ひまわりバスは、市内の高等学校への通学や通勤、通院などの利便性を高めるため、拠点間バスの増便を行う一方、乗車人数の少ない路線の統合などを行い、利用者の増加を図ります。

定住促進については、創生総合戦略に取り組むうえで重要な施策であり、住宅取得などに対する助成制度や空き家バンク制度、市が保有する住宅用地の分譲に取り組みます。

平成27年度は、戦後70年という節目の年となります。世界の恒久平和に向けた情報発信するとともに、「知覧特攻平和会館の保存収蔵資料の世界記憶遺産登録」を目指します。また、平成28年度を目標にした知覧茶への銘柄統一、創生総合戦略に定める移住・定住促進対策、後期基本計画で定めたこれら3つの重点プロジェクトの施策を積極的に展開し、市民のニーズに応えられるよう、全力で市政運営に取り組みます。



市の分譲宅地

IV 安全でうるおいのある生活環境づくり

生息域を拡大しているヤンバルトサカヤスデ対策については、引き続き家屋侵入防止薬剤の購入支援を行います。

消防・防災体制の充実については、東日本大震災などの教訓を踏まえて策定した新たな地域防災計画を基に、地域防災力の向上に努めます。

常備消防については、組織体制の充実、強化を図るため消防署を建設し、市民の生命、身体、財産の保護に努めます。

V いきいきと健康・福祉のまちづくり

健康・福祉については、住民

自ら生活習慣を見直し、運動習慣の徹底や食生活改善を動機づけ、脂肪減量事業に取り組み、住民の健康づくりを支援します。

子育て支援体制については、中学生までの医療費全額助成や保育サービスの充実などにより、子育て家庭の負担軽減を図ります。

高齢者福祉については、医療・介護・予防・生活支援・住まいが一体的に提供されるよう地域包括ケアシステムの構築を推進します。

認知症高齢者の増加が見込まれるため、徘徊SOSネットワーク事業や認知症サポーター養成事業などの認知症ケアを推進します。

VI 心の豊かさ創造力を育む教育文化のまちづくり

学校教育については、児童生徒一人ひとりの心に届く指導と道徳教育を中心とした心の教育、たくましく生きていく上で必要な健康や体力を育む教育を展開し、地域に開かれた特色ある学校づくりを進めます。

顕娃地区中学校の再編については、顕娃地区統合中学校開設準備委員会において、再編に向けて新し

い中学校の場所、名称など具体的な協議を進めます。

文化活動の推進については、本年は、第30回国民文化祭・かごしま2015が開催され、本市では現代詩の祭典を実施します。これを機に、文化活動の一層の充実を図ります。



本年は戦後70年という節目の年であり、特攻隊員の貴重な資料は、世界の恒久平和に寄与するとともに特攻の史実を風化させることなく、次の世代に永久に語り継ぐべきものであることから、2017年のユネスコ世界記憶遺産登録を目指します。

VII 協働と自立による住民主役の個性的なまちづくり

地域コミュニティの充実については、校区・地区公民館を単位とした地域づくりを推進するため、組織

の体系づくりに取り組みます。

開かれた行政と住民参画体制の確立については、まちづくりの主役は市民であるという意識の醸成を図ります。また、地域づくりやボランティアに取り組み団体などを育成・支援します。

効率的な行政運営の推進については、第2次組織機構再編計画に基づき、部制廃止、本庁機能の充実、課の再配置など組織機構の再編を行い、効率的な行政運営に努めます。

財政運営については、地方交付税が合併後の特別措置期間を経過し、本年度から5年間かけて漸減措置が行われ、財政状況が厳しくなります。

健全な財政運営は、行政運営の基本であり、その健全財政の推進について、市民の皆さまのご理解とご協力をお願いします。



平成27年度 南九州市当初予算

一般会計	215億	700万円	(対前年度比 +2.9%)
特別・企業会計	134億	8,764万3千円	(対前年度比 +5.7%)

南 九州市の平成27年度当初予算は、行政改革大綱、集中改革プランおよび中期財政計画に基づき、健全でかつ将来を見据えた財政運営に努めるとともに、第一次南九州市総合計画の後期計画に位置付けられた諸施策を確実に推進するため、効率的で重点的な予算措置を行いました。特に平成27年度は、「生活環境の向上及び公衆衛生の推進」、「消防・防災体制の充実」、「教育施設の改修、整備」、「農業経営基盤の強化」および「茶業の振興」などに予算の重点的な配分を行いました。

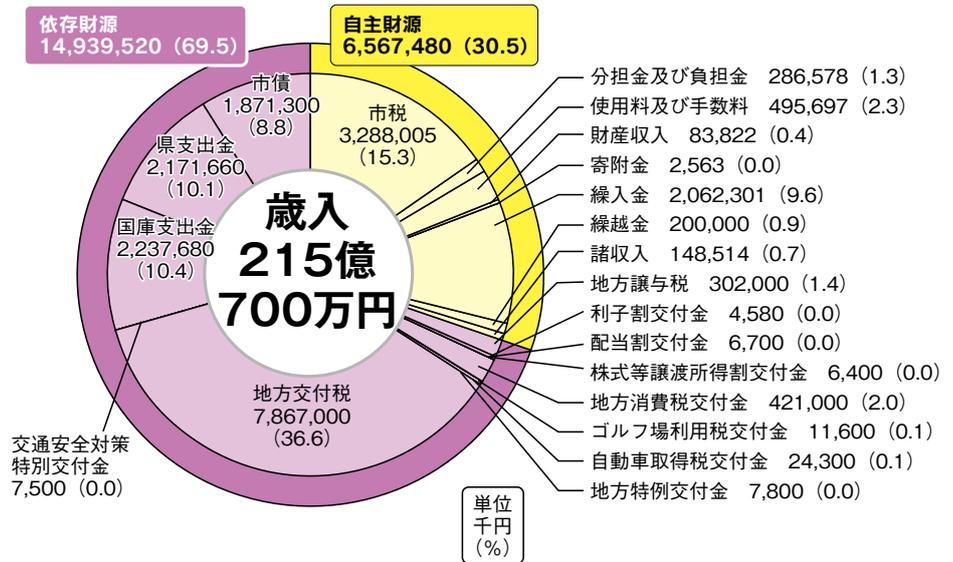
一般会計の総額は、前年度比2.9%、6億700万円増の215億700万円となりました。また、一般会計と6つの特別会計および企業会計(水道事業会計)を合わせた予算総額は、349億9,464万3千円で、前年度比4.0%、13億3,321万8千円の増額となりました。

◎平成27年度当初予算の歳入歳出状況

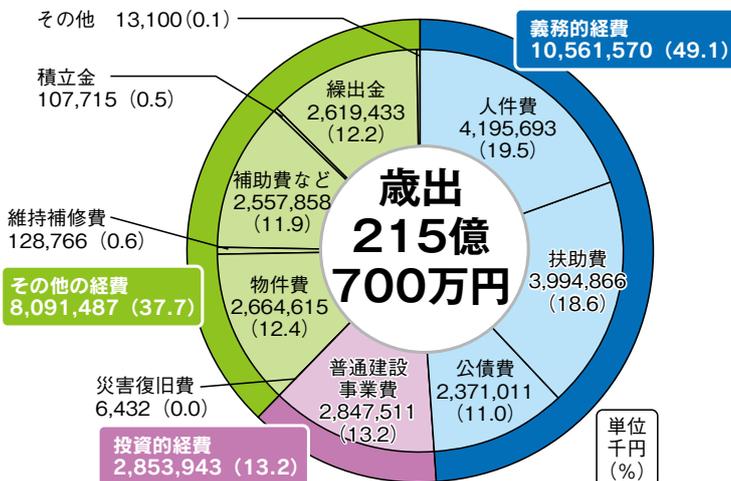
<歳入の状況(一般会計)>

歳入は、国や県から交付されるお金である「依存財源」と呼ばれるものが総額の69.5%を占めており、前年度よりも依存財源の割合は3.5ポイント下がっています。依存財源のうち、最も多いものは、地方自治体が一定水準の行政サービスを保つために国から交付される地方交付税で、全体の36.6%を占めており、以下、国庫支出金、県支出金、市債の順となっています。

一方、市が自ら賄えるお金である「自主財源」は、最も多いのが市民の皆さんが納められる市税で、全体の15.3%を占め、財政調整基金などの基金(貯金)からの繰入金が増えたことにより、自主財源の占める割合は3.5ポイント上昇しました。



<性質別歳出の状況(一般会計)>



歳出を性質別に見ると、人件費、扶助費および市債(借金)の償還を行う公債費で「義務的経費」と呼ばれるものの割合が最も多く、全体の49.1%を占めています。

基盤整備や道路整備、学校施設の整備など「投資的経費」と呼ばれる経費は全体の13.2%となり前年度に対し0.8ポイントの増となりましたが、これは、茶産地カパワーアップ条件整備事業費や学校施設環境改善交付金事業などの増額によるものです。

また、補助費などについては、全体の11.9%を占め、前年度に対し1.1ポイント増加しました。これは、汚泥再生処理施設整備に伴う衛生管理組合への負担金や救助工作車および高規格救急自動車の購入などによる消防組合への負担金の増額によるものです。

<目的別歳出の状況(一般会計)>

	民生費	総務費	衛生費	公債費	教育費	農林水産業費	土木費	消防費	災害復旧費
平成27年度	6,548,266 (30.5)	2,525,076 (11.7)	2,461,104 (11.4)	2,371,011 (11.0)	2,283,399 (10.7)	2,076,520 (9.7)	1,502,720 (7.0)	1,183,867 (5.5)	6,932 (0.0)
平成26年度	6,638,608 (31.8)	2,632,235 (12.6)	2,181,250 (10.4)	2,384,778 (11.4)	1,994,670 (9.6)	1,774,031 (8.5)	1,631,527 (7.8)	1,098,627 (5.3)	5,266 (0.0)

歳出を目的別に見ると、最も大きな割合を占めるのが、市民の皆さんが安心して暮らすための福祉の充実などに使われる民生費で、前年度に対し1.3ポイントの減で全体の30.5%を占めています。これは、消費税率引き上げに伴い創設された臨時福祉給付金支給事業費や子育て世帯臨時特例給付金支給事業費の減によるものであり、障害者自立支援給付費や生活保護費などは増加しています。次に多いのは総務費で全体の11.7%を占め、以下は衛生費、公債費、教育費、農林水産業費、土木費、消防費の順となっています。

会計別の当初予算額

(単位:千円、%)

区分	平成27年度	平成26年度	比較	
			増減額	増減率
一般会計	21,507,000	20,900,000	607,000	2.9
特別会計	12,766,900	12,061,600	705,300	5.8
国民健康保険事業特別会計	6,950,400	6,286,800	663,600	10.6
後期高齢者医療特別会計	566,400	566,800	▲400	▲0.1
介護保険事業特別会計	4,729,000	4,683,000	46,000	1.0
簡易水道事業特別会計	279,900	277,900	2,000	0.7
農業集落排水事業特別会計	78,500	76,300	2,200	2.9
公共下水道事業特別会計	162,700	170,800	▲8,100	▲4.7
水道事業会計	720,743	699,825	20,918	3.0
合計	34,994,643	33,661,425	1,333,218	4.0

(注) 水道事業会計は、収益的支出および資本的支出の予定額の合計

◎平成27年度当初予算を市民1人あたりに換算すると…

市民1人当たりが負担する市税

総額 **85,826円**

※金額は、平成27年2月28日現在の住基人口(37,717人)で計算しています。(鉱産税、国有資産等所在市町村交付金は除く)

市民1人当たりに使われるお金

総額 **570,220円**

※金額は、平成27年2月28日現在の住基人口(37,717人)で計算しています。



市民税
31,495円



固定資産税
45,020円



民生費
173,616円



総務費
66,948円



衛生費
65,252円



公債費
62,863円



教育費
60,540円



軽自動車税
3,055円



市たばこ税
6,256円



農林水産業費
55,055円



土木費
39,842円



消防費
31,388円



その他
14,716円



主要事業



南九州市では、「自然豊かで創造と活力に満ちくらしと
のちが輝く“こころ” やすらぐまち」を目標として、南九州市
総合計画に基づきまちづくりを進めています。まちづくりの
基本政策として位置づけられている7つの体系に沿って、平
成27年度の主要事業を紹介します。

I 安心・安全な食の提供と

未来を支える

農業のまちづくり

農業人材育成事業費

3515万円

農業後継者育成確保奨励金および青年就農給付金を給付し、本市の農業を担う有能な人材の育成および確保に努めます。

多面的機能支払交付金事業費

1億1295万円

地域が取り組む農地などの維持管理および施設などの長寿命化への活動に対する助成。

機構集積協力金交付事業費

1390万円

農地中間管理機構に対し、農地を貸し付けた地域および個人を支援することにより、担い手への農地集積・集約化を加速し、地域農業の活性化を図ります。

基幹水利施設管理事業費

8486万8千円

南薩畑地かんがい事業で整備した

基盤整備促進事業費

3721万円

未整備の農道、水路などの整備を行います。



県営土地改良事業費

3547万6千円

県営シラス対策事業など7地区の県営事業負担金。

農地防災事業費

5994万円

農道整備および集水路・承水路整備などを行います。

農業基盤整備促進事業費

5282万2千円

農道の舗装工事（7地区）を行います。

活動火山周辺地域防災営農対策事業費（茶業）



1億1382万4千円

桜島の降灰による被害軽減（茶摘採機能付降灰除去機）の整備に補助を行います。

4億2280万4千円

荒茶加工施設などの機能性向上を図るための整備に補助を行います。

6次産業化サポート事業費

7500万円

6次産業化により新たな市場・付加価値を創出するための施設整備に補助を行います。

林道開設事業費

5360万4千円

伐採、間伐などの林業生産活動の活性化を推進するため林道を開設します。（林道辨才天線）

II 活力ある人と物が動く 新たな産業づくり

商工総務費

2483万7千円

商工業振興のため、特産品のPR・

販売などの取組みのほか、商工会イベント対策補助、商工振興利子補給補助および商店街活性化対策（空き店舗活用）に対する補助などを行います。

川辺仏壇振興費

793万円

仏壇産業振興のため、工芸品コンクールや販路拡大補助および後継者育成のための資金貸与を行います。

観光振興費

2787万8千円

全国小京都会議などへの参加や姉妹・交流都市との交流を推進し、本市のPR活動を積極的にを行い、あわせて知覧ねぶた祭などのイベント開催に補助を行い、個性と特色のある観光地づくりを目指します。



人と物の交流を

Ⅲ 促進する

社会基盤づくり

道路維持費

2億2815万7千円

市道および権限移譲による知覧管内の国・県道の維持管理を行うほか、市道の局所的な改良・舗装を行います。



市道単独整備事業費

2億6273万2千円

春向谷場線ほか15路線の市道改良、路盤整備などを行い、環境整備と交通の安全を図ります。

市道補助整備事業費

2億7439万円

橋梁詳細点検業務委託、麓荷辛路線ほか6路線の市道改良、路盤整備などを行います。

街路維持費

3587万4千円

街路事業で整備した市街地における市道および県道の維持管理を行います。

バス対策事業費

5502万5千円

コミュニティバス(ひまわりバス)や地域間幹線バス路線確保のための補助を行います。

移住定住促進対策事業費

3712万3千円

移住定住を促進し、出身地域への回帰による自治会活性化に資するための住宅取得などへの助成や、市内工業系高校生を対象とした誘致企業への見学会および婚活活動協議会への補助を行います。

国体等対策関係事業費

1385万5千円

平成32年度の国民体育大会のソフトボール競技が本市で実施されることから、知覧平和公園陸上競技場や多目的球場および諏訪運動公園陸上競技場の整備を年次的に行います。



安全で

Ⅳ

うるおいのある生活環境づくり

不害虫対策費

3351万4千円

不害虫ヤンバルトサカヤシアの駆除および蔓延防止、生息地拡大の抑制に努めます。

地方改善施設整備事業費

583万6千円

地区内の排水路の整備を行い、生活環境と公衆衛生の改善を図ります。(厚地山ノ尻地区)

清掃総務費

8億505万8千円

指宿広域市町村圏組合(新ごみ処理施設整備費など)や南薩地区衛生管理組合(汚泥再生処理施設など)への負担金など。



浄化槽設置整備事業費

9735万1千円

生活雑排水による公共用水域の水質汚濁を防止するため、合併処理浄化槽設置に係る経費を助成します。

顕姪浄楽苑管理費

8586万5千円

老朽化に伴う、火葬炉(1号炉)の改修工事などを行います。

放送施設整備費

1366万2千円

自治会内の情報伝達システムである放送設備整備に対する助成を行います。

消防施設費

1億6708万2千円

災害発生時に備え、消防水利や施設、資機材などの整備(防火水槽新設、消防ポンプ車更新など)を行い、消防体制の充実を図ります。

災害対策費

1億8428万7千円

災害対策に要する会議、訓練、調査、警戒活動費のほか、既存の防災行政無線システムの保守、計画的な防災行政無線のデジタル化整備(知覧地区の施設整備を平成26年度から継続して実施)のほか、ハザードマップ作成などを行います。



V いきいきと健やかに暮らせる 健康・福祉のまちづくり

■ 予防接種関係費

8105万3千円

乳幼児から高齢者までを対象にB
CG、麻疹・風疹、インフルエンザ
など各種の予防接種を実施し、公
衆衛生の向上および健康の維持を
図ります。

■ 検診事業費(各種がん等検診費)

4977万3千円

胃がん、乳がん、子宮頸がん検診な
どを実施し、疾病の早期発見と市
民の健康維持の一助とします。

■ 脂肪減量事業費

158万2千円

生活習慣病予防のため運動教室な
どを開催し、運動を日常に取り入
れることにより、体脂肪量などの
減量を目指します。

■ 子ども医療費助成事業費

1億604万2千円

中学生までの子どもの保険診療分
の負担額を全
額助成し、疾病
の早期発見と
早期治療を促
進し、子育てを
支援します。



■ 児童手当支給事業費

5億6096万4千円

中学校終了までの児童に対し、児
童手当の支給を行います。

■ 出生祝金支給関係費

1065万円

子どもの誕生をお祝いし、子育て
を支援します。(第2子に5万円、
第3子以降に10万円)

■ 子育て世帯臨時特例給付金支給 事業費

1843万9千円

消費税率引き上げに伴う子育て世
帯への影響を緩和するため、対象
児童1人につき3千円の給付を行
います。対象児童は、平成27年6
月分の児童手当の受給者で要件を
満たす方です。

■ 妊婦健康診査関係費

2415万1千円

妊婦の健康保持を図るため、妊婦
健康診査を実施します。(公費負
担14回分)

■ 特定不妊治療費助成事業費

200万円

少子化対策の一環として、特定不
妊治療に要する費用の一部を助成
します。

■ 放課後児童対策事業費

4997万6千円

小学生の健全育成のため、児童ク
ラブを実施する団体などへ補助を
行います。

■ 保育対策等促進事業費

6693万9千円

延長保育を实
施する保育所
へ補助を行
います。



■ 保育緊急確保事業費

1102万1千円

市内保育所で実施される一時預か
り事業や地域子育て支援拠点事業
に対する助成などを行います。

■ 生きがい対応型デイサービス 事業費

1049万8千円

閉じこもりがちな高齢者に日常生
活活動や趣味などの各種サービ
スを提供します。

■ 重度心身障害者医療費助成事業費

1億5065万9千円

重度心身障害者の健康保持増進
を図るため、医療に要した費用を
助成します。

■ 障害者地域生活支援事業費

3819万4千円

障害者などが地域での自立した生
活を営めるよう相談支援や移動支
援、創作的活動などの機会を提供
します。

■ 障害者自立支援給付事業費

10億2833万6千円

障害者などが必要とするサービ
スの利用に対し、支援を行います。

■ 特別障害者手当等給付事業費

3153万円

特別障害者手当などを支給し
ます。

■ 臨時福祉給付金支給事業費

8589万8千円

消費税率引き上げに伴う低所得
者への影響を緩和するため、対象
者1人につき6千円の給付を行
います。対象者は、市民税(均等割)
が課税されていない方(市民税(均
等割)が課税されている方の扶養
親族などを除く)です。

VI 心の豊かさ創造力を育む教育・文化のまちづくり

■ 小学校教育振興事業費

9739万円

小学校の教育振興、特別支援教育支援員やスクールガードの設置などをを行います。

■ 小学校施設管理費

7870万6千円

小学校の良好な教育環境保持のため、施設維持修繕・改修工事などを行います。

■ 学校施設環境改善交付金事業費

（浮辺小学校）

3億3104万5千円

浮辺小学校校舎（築50年）の大規模改造工事を行います。



■ 学校施設環境改善交付金事業費

（別府小学校）

1308万4千円

別府小学校中校舎（築49年）の大規模改造工事のための設計を行います。

■ 学校施設環境改善交付金事業費

（川辺小学校）

621万3千円

川辺小学校屋内運動場（築46年）の大規模改造工事のための設計を行います。

■ 中学校教育振興事業費

4834万7千円

中学校の教育振興、特別支援教育支援員の設置などを行います。

■ 地域子ども教室推進事業費

295万2千円

市内各小学校で放課後や土日に学習活動や体験活動などを実施し、放課後や週末の子どもの安全な居場所を作ります。

■ 校区・地区公民館費

7476万1千円

校区・地区公民館の円滑な運営を行います。

■ 社会体育推進費

1485万7千円

スポーツ教室、市民体育大会および駅伝競走大会などを開催するとともに、社会体育施設の整備と円滑な管理を行います。

■ 図書館管理運営経費

7720万8千円

図書館（室）および移動図書館の円滑な運営に努めます。

■ 伝統的建造物群保存対策事業費

1838万1千円

伝統的建造物群の保存のための修理などを行います。

■ スピーチコンテスト事業費

1799万5千円

「平和へのメッセージfrom知覧」スピーチコンテストを開催し、平和情報を発信します。

■ 知賢特攻平和会館管理費

1億2381万3千円

音声ガイドシステムの更新および誘客活動のほか、会館・遺品・戦跡・石燈籠の管理を行います。

■ 世界記憶遺産推進費

5275万6千円

特攻隊員が書き残した遺書や手紙のレプリカ作成経費、世界記憶遺産広聴関係費などの世界記憶遺産登録に向けた準備を行います。



VII 協働と自立による住民主役の個性的なまちづくり

■ 行政嘱託員関係費

1億1868万2千円

行政事務遂行のための行政嘱託員設置の経費などにより自治会活動を支援します。

■ 自治会関係費

3213万8千円

自治会集会施設などの整備補助、自治コミュニケーションイ活動奨励金などにより自治会活動を支援します。

■ 共生・協働地域社会づくり事業費

45万4千円

共生・協働の社会づくりの実現に向けて、担い手育成と環境整備を図ります。

■ まちづくり事業費

190万円

自治会などの地域コミュニケーション組織や住民のコミュニケーション実践するまちづくり、また、地域課題の解決や魅力づくりに対する支援を行います。

■ 庁舎管理費

6269万7千円

3庁舎の維持管理や川辺庁舎前道路拡張に伴う庁舎敷地改修工事などを行います。

■ 元金償還金

21億878万4千円

■ 利子償還金

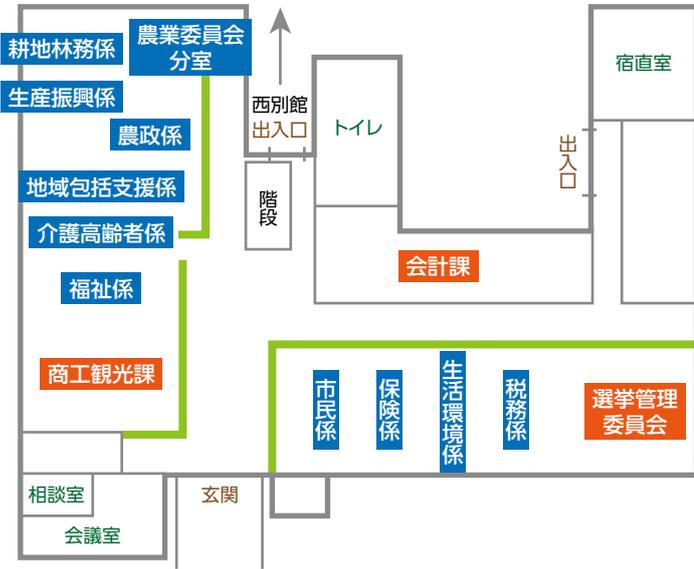
2億6222万7千円

これまでのまちづくりのために借り入れた市債（借金）の返済を行います。

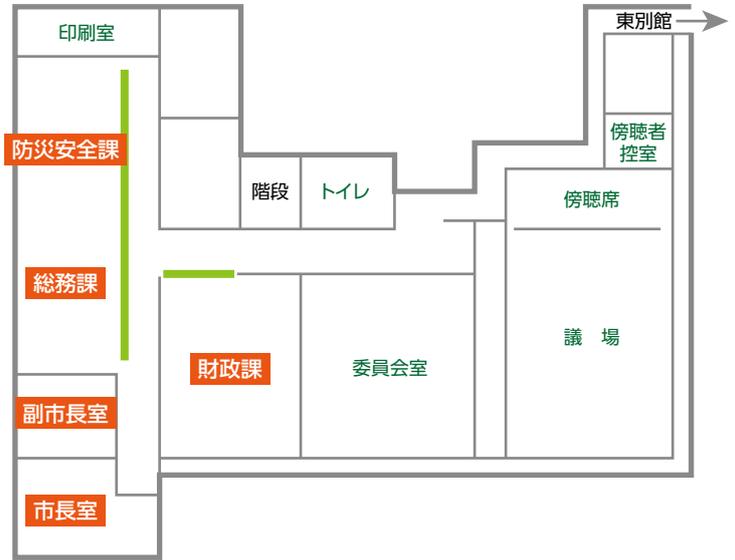
平成 27 年 4 月より 各庁舎内の配置がかわりました。

知覧庁舎 本館

本館 1 階



本館 2 階

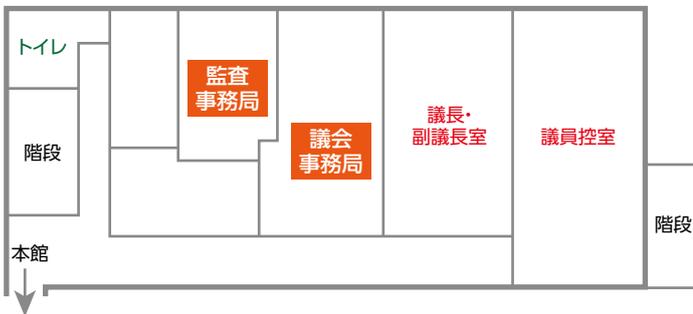


知覧庁舎 東別館

東別館 3 階



東別館 2 階



東別館 1 階



知覧庁舎 西別館

西別館 2 階



西別館 1 階



穎娃庁舎 本館

本館 2階

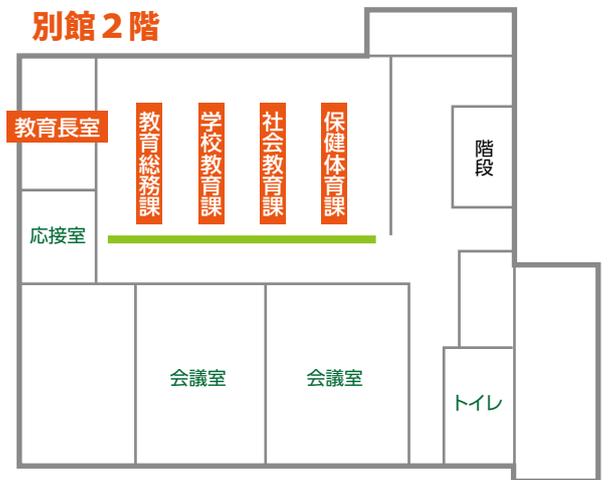


本館 1階

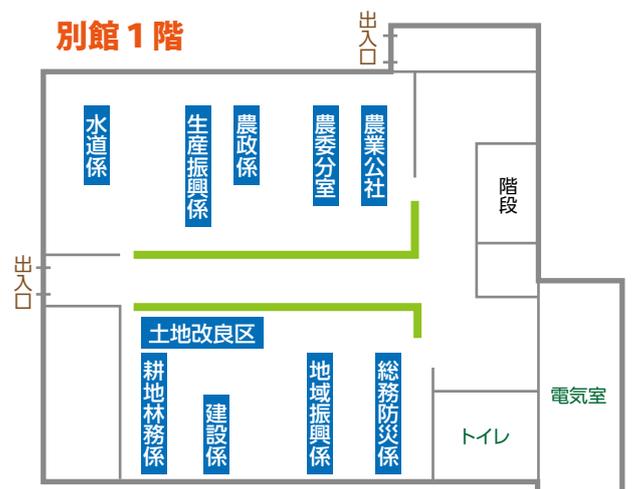


川辺庁舎 別館

別館 2階



別館 1階



川辺庁舎 本館

本館 2階



本館 1階

